

平成31年度 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 市民科学研究室

1 事業の成果

- ・「一食福島復興・被災者支援助成」を用いた事業を推進（下記参照）
- ・電磁波、食、防災、健康、消費者教育問題等に関する講演、取材、インタビュー、論文執筆など40数件
- ・（株）アイカムと共同での連続映画上映会を5回実施
- ・電磁波、科学コミュニケーション、低線量被曝、食、熱とくらし、Bending Science、生命操作に関する調査研究を実施（研究会の総回数50回程度）

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
科学技術に関連する市民学習講座などの教育事業	●市民科学講座（計22回）： Aコース：4回（5/25 エネルギー、6/2 技術者倫理、11/7 ヴォイススタディーズ、3/13 個人情報）、Bコース：7回（8/10 10/20 11/18 12/10「放射線とその周辺」、7/18 10/16 エネルギー、11/27 香港問題） Cコース：10回（7/20 8/3 エアコン問題、8/26 大川小学校問題、7/26 スマホ問題、12/7 植物園ワークショップ、3/14 経済学、7/6 子ども料理（江東区）、7/2 味の素見学、2/23 味噌作り）、Dコース：1回（12/18 銭湯） ●共催イベント：6/1 放射線疫学セミナー（1回） ●アイカム映画上映会：5/5 6/29 8/31 12/21 2/29（計5回） ●講演（計13回）：原発避難ワークショップ（文京区）6/16、電磁波問題（横浜）6/22（海老名市）6/26（平塚市）11/14（新宿）12/7、5G問題（東京弁護士会）12/13（秦野市）2/9、科学コミュニケーション（東大CAST）6/30、高木基金成果発表7/14、子ども健康（早稲田研究会）9/16、ゲノム編集（府中）10/14、香りの害（海老名市）10/18、食問題（港北区）12/14、エネルギー問題（港北区）2/29 を計41回実施した。	多数	文京区内の生涯学習施設他	35人	科学技術に関心のある市民 多数	143

科学技術に関連する調査研究事業	●研究会……各研究グループが平均して毎月1回実施（その他打ち合わせなども多数あり） ●学会等での発表（2回）……科学技術社会論学会11/7+8（金沢）、ベルギー共同研究での発表1/27+28を含め、取材・フィールドワーク等を合計50回程度実施した。	4月より 随時	法人事務所	45人	不特定多数	94.2
科学技術に関連する提言支援事業	●ICRP パブコメ関連の対話集会、プレス向け集会、草案翻訳など（8月から10月にかけて数回） ●取材相談対応5回：環境問題1/30 2/3、放射線問題10/21、活動取材（「文京まちたいわ」文京経済新聞）11/7、ゲノム編集（『赤旗』）3/6など10回程度実施した。	4月より 随時	法人事務所ほか	15人	集会参加者ら260人程度	85.3
科学技術に関連する出版物、ホームページなどによる広報事業	●機関誌『市民研通信』を第44～49号の6冊を発行し、ウェブサイトにて情報提供した。4月から3月まで総計約40本の記事論文を執筆し、ホームページで公開した。	4月から 3月まで	法人事務所	40人	会員及び科学技術に関心のある市民	69.6
助成事業	●「立正佼成会一食（いちじき）平和基金」及び「ふくしま地球市民発信所」による「一食福島復興・被災者支援」事業助成プログラムにより「福島県からの避難を理解するための福島県外での中学・高校・大学生向け教育（ワークショップ）プログラムの開発と実践」：WSを1回総計60名（12/8 文京区「ご近所 de BOSAI@3.11 から未来へ！」と共催）（コロナウイルス禍で3月に予定していた新渡戸文化中でのWSは中止） ●サントリー財団研究助成「学問の未来を拓く」（メンバーとして参画）「シチズンサイエンスの普及にむけた概念整理とプラットフォーム構築の提案」（代表：阪大・中村征樹）【継続中】	4月から 3月まで	法人事務所 および文京区 内施設他	15人	文京区民をはじめとする参加者ら80名程度	2,242